

Y20b やまがた天文台における星空案内人養成～やさしい宇宙講座の運営～

大澤健、柴田晋平、渡邊瑛里、菊池怜美、上野友美（山形大/NPO 法人小さな天文学者の会）、佐藤理絵、熊谷美恵（NPO 法人小さな天文学者の会）、ほか星空案内人資格創設プロジェクトチーム

やまがた天文台では春と秋の年2回、星空案内人を養成する「やさしい宇宙講座」（全8回）を開講している。（2007年春季年会 Y17a, Y18b）2年目を終了し、運営者の負担を最小限にし、受講者の満足度を最大にするよう運営に改良を加えた。養成の前半は準案内人の養成、後半は案内人の養成（ポスター発表、渡邊ほか参照）に区分し、ここでは準案内人養成の講座の改善点と成果を発表する。

本年度の応募者数は春95人、秋67人で募集定員30人に対して倍率はそれぞれ約3倍、2倍であった。受講生の年齢層は中学生から70代の方までと幅広く、参加地域も山形市内から少し遠いところでは仙台市、中には関東や広島から毎週通われる方もいた。昨年度の講座と大きく変わったところは、講座開始時に養成過程全体を見渡せる徹底したオリエンテーションを入れたこと。またレポートの処理作業をマニュアル化したことである。前者の改革により、受講生が講座の全体像を最初に把握することができ単位の取り方が明確になったことで資格取得を目指しやすくなった。後者の改革で、単位認定作業を正確かつ効率的に行えるようになった。講義終了後のアンケートの結果では、講座に対する満足度は非常に高く、受講後に宇宙への関心度が高くなった。難易度に関しては科目によるバラツキがあるので当日ポスターで詳しく報告する。準案内人取得後、約20%が案内人へのレベルアップを希望している。

星空案内人の資格認定制度は2段階で行っており、第一段階として準案内人の資格を取得し、その後第二段階に進み案内人を目指す。本年度は全受講生162人のうち37人（23%）が準案内人の資格を取得し、案内人の資格取得者は3名（2%）という結果であった。（2008年12月16日現在）